

## ● タイル感謝祭のはじまり ●

多治見市に「モザイクタイルミュージアム」が開館して、6年半が過ぎました。この間、全国から多くのお客様が来館して下さり、(コロナ禍で、減少したときはありましたが)「タイルでお客様が呼べる、世の中にはタイル好きが多く存在する。」という事に、気が付くことができました。

しかしながら、タイル業界は、全体的な不況の中、ほとんど何もできていないのが現実です。もちろん、2022年は、「タイル名称統一100年」という事で、行政の協力のもとタイルをPRするための、色々なイベントを行ってきました。

また、ミュージアム前広場を使った、「モザイクマート」「美濃焼タイル祭り」「産業フェスタ」、さらにはミュージアム内での様々なイベントも行ってきました。

しかし今一度、タイル業界(タイルに関わる業者)、地元が、一丸となって今後の業界の将来を考える事が必要なのではないかと思っています。一部の有志ではなく、タイルに関わっているすべての人、会社、業者が、一堂に集まり知恵とアイデアと工夫を持ち寄り、タイルの良さを広め続ける必要があると思います。

そこで、毎年4月の日曜日に、「タイル感謝祭」と銘打ち、タイル産業に関わっているすべての人たちはタイルに感謝し、地元の皆様や全国のタイル好きの皆様にはタイルを楽しんでいただけるような感謝のお祭りを開催したいと思います。



詳しくはこちら  
イベント公式  
Instagram



## ● うまいものブース ●

- ・楽蔵亭(らくらてい) ・粉のアトリエ コナリエ
- ・スパイスファクトリーあべべ ・Cafe Platre
- ・やまと ・古川酒店 ・めぐみ飴本舗

【kitchen car】-----

- ・Shape Hat Coffee & Roast ・気分屋
  - ・PINGA(ピンガ) ・SEA HOUSE26 ・めい's Café
- たくさんのおいしいお店や、お土産、お買い物を楽しむことができます！

## ● 陶祖への神事 ●

タイル製造のきっかけとなる笠原のやきものの陶祖は、慶長二十年(1615年)当時 妻木氏領であったため妻木城主に加藤治郎太夫が開窯を願い出許されたとされています。その陶祖の遺徳を称えるため昭和6年に陶ヶ丘に陶祖碑が建立され、以後4月第2日曜日に神事を90年を超えて行なってきました。

今回の感謝祭にて陶祖に感謝するとともに、感謝をこめて作った記念のタイルを合わせて拝んで頂きます。記念タイルはお越し頂いた皆様にお配りいたします。(先着50名様)

## ● ステージイベント ●

- ・多治見チアリーディングチーム BEAMS
- ・YOAKE DANCE WORKS
- ・陶都中・笠原中吹奏楽部合同バンド

その他

ステージ上で、さまざまな表現・演奏で感謝祭を一層盛り上げていただきます。

## ● イベント ●

・モザイクタイルアーティスト  
中村ジュンコ  
タイル装飾ピザ窯/  
ワークショップ実演会

## ● ワークショップ ●

- ・アンティークタイルボード × 多肉寄せ植え
- ・タイルに釉薬で絵を描こう
- ・電気炉でタイルに転写紙を貼ろう
- ・「まつぼっくり」工作
- ・タイルで小物を作成しよう
- ・タイル金魚釣り

タイルを使ったタイルの世界ならではの様々な体験ができます。



## ● 出店販売 ●

- ・タイルの小売販売 ・タイルガチャ
  - ・タイル雑貨
- タイルから生まれた、新しいアイデアの雑貨などタイル好きには見逃せない販売もあるかも！